

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	災害に屈しない強靱な道路空間の確保（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	浜松市												
計画の目標	国土強靱化地域計画に基づき、人々の生命と財産を守るため、災害に屈しない道路空間を確保し、未来へかがやく強くてしなやかなまち浜松を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,920	A	1,920	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R6末)
1	道路防災点検によって、落石や斜面崩壊等の恐れがあると判断された箇所（要対策箇所）の計画的な対策により、災害に屈しない道路空間を確保する。 道路防災点検により「要対策」と判定された箇所のうち未対策箇所の対策実施率を算出する。 対策実施率（%）= 対策を実施した箇所数 / 中山間地の緊急輸送道路及び国道における要対策箇所数（138箇所）	13%	%	55%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	修繕	(国)152号	道路防災対策 L=2.3km	浜松市						550	未策定	
	A01-002	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	修繕	(国)362号	道路防災対策 L=1.9km	浜松市						650	未策定	
	A01-003	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	修繕	(国)257号	道路防災対策 L=2.1km	浜松市						720	未策定	
												小計						1,920	
											合計							1,920	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
「浜松市公共事業事後評価実施要綱」に基づき審議を行い、評価の判定及び対応方針を決定	令和8年3月19日 浜松市土木部公共事業評価審査会
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・道路防災点検等の要対策箇所の対策を実施することで、災害を未然に防ぐことができ、災害に強い道路ネットワークを構築すると共に、道路利用者の安全・安心の向上につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・国道152号については土砂災害対策道路事業補助移行 ・対策が完了していない箇所については引き続き事業進捗を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	55%
	最終実績値	51%
	道路防災点検により「要対策」と判定された箇所のうち未対策箇所の対策実施率（%）	
	用地交渉等が難航したことで計画目標年次までに対策完了できた箇所が減少し、目標値に達しなかった。	